

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザサポート

ルート証明書の世代移行に伴う PAN-OS アップグレード対応について

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザサポートをご利用くださいますようお願いいたします。
この度、Palo Alto Networks 社より、ルート証明書の世代移行により一部環境では PAN-OS アップグレード対応が必要となる旨の案内が発表されました。

1. 概要

Palo Alto Networks 社は、PA シリーズ（VM シリーズ含む）のルート証明書を G1（第 1 世代）から G2（第 2 世代）へ移行を進めています。2027 年 4 月 30 日 17:00 PST（米国太平洋時間）以降、G2 ルート証明書に対応していない PAN-OS バージョンで稼働している機器は Palo Alto Networks 社のクラウドサービスとの通信が確立できなくなり、インターネット経由でのライセンス取得、クラウド型セキュリティサービス（CDSS）および、その他クラウドサービスをご利用できなくなります。影響を受ける PAN-OS バージョンをご利用されているお客様は、表 1 に記載されている対応 PAN-OS バージョンへのアップグレードをご検討ください。

2. 対象のお客様および対応バージョン

表 1 の影響を受ける PAN-OS バージョンで稼働している PA シリーズ（VM シリーズ含む）をご利用のお客様は PAN-OS のアップグレードをご検討ください。

Panorama 管理環境においても、管理対象の PA シリーズ（VM シリーズ含む）は個別に対応が必要です。対象バージョンをご利用の場合は、各ファイアウォールについても PAN-OS のアップグレードをご検討ください。

表 1 対象 PAN-OS バージョン

PAN-OS バージョン	影響を受ける PAN-OS バージョン	対応 PAN-OS バージョン
PAN-OS 12.1 系	影響なし	全バージョン
PAN-OS 11.2 系	影響なし	全バージョン
PAN-OS 11.1 系	11.1.4 未満	11.1.4 以上
PAN-OS 11.0 系(※)	11.0.5 未満	11.0.5 以上
PAN-OS 10.2 系(※)	10.2.11 未満	10.2.11 以上
PAN-OS 10.1 系(※)	10.1.14 未満	10.1.14 以上

(※)PAN-OS 10.1、10.2、11.0 はメーカーサポートが終了しております。該当バージョンをご利用の場合は、PAN-OS 11.1 以降へのアップグレードをご検討ください。

メーカーサポート期間の詳細については、下記のメーカーサイトをご参照ください。

<https://www.paloaltonetworks.com/services/support/end-of-life-announcements/end-of-life-summary>

また、弊社サポートサイトに掲載中のトピック「インターネット経由でのライセンスおよびコンテンツ/ソフトウェア更新の配信終了について(PAN-OS 8.x/9.x/10.0)」の解決策に従い、PAN-OS のアップグレードを実施されたお客様におかれましては、稼働している PAN-OS バージョンが対応 PAN-OS バージョン以降でない場合は追加のアップグレード実施をご検討ください。

3. 影響範囲

G2 ルート証明書を保持していない PA シリーズ (VM シリーズ含む) では、2027 年 4 月 30 日 17:00 PST (米国太平洋時間) 以降、以下のサービスがご利用できなくなります。なお、復号化ポリシー、GlobalProtect の設定、およびその他のトラフィック処理設定は影響を受けません。

■クラウド型セキュリティサービス (CDSS)

- Advanced Threat Prevention
- Advanced URL Filtering
- Advanced WildFire
- Advanced DNS Security など

■その他クラウドサービス

- Strata Logging Service
- Strata Cloud Manager

4. 影響有無の確認方法

ご利用中の PA シリーズ (VM シリーズ含む) の PAN-OS バージョンを表示し、対応 PAN-OS バージョンであることをご確認ください。PAN-OS バージョンの確認方法は以下の通りです。

■ PA シリーズ (VM シリーズ含む) および Panorama での確認手順

CLI :

show system info コマンドを実行し、コマンド結果に含まれる sw-version をご確認ください。

GUI :

Dashboard > General Information > Software Version をご確認ください。

■ Panorama 管理下の PA シリーズ (VM シリーズ含む) での確認手順

GUI :

Panorama > Managed Devices > Summary にて、Software Version 列をご確認ください。

5. 解決策

影響を受ける PAN-OS バージョンで稼働している PA シリーズ (VM シリーズ含む) をご利用のお客様は、2027 年 4 月 30 日 17:00 PST (米国太平洋時間) までに表 1 に記載している対応 PAN-OS バージョンへのアップグレードをご検討ください。なお、本事象に対する回避策はございません。

6. その他特記事項

ファイアウォールへインストール済のクラウド型セキュリティサービス (CDSS) 向けのシグネチャ、インストール済のライセンスについては、2027 年 4 月 30 日 17:00 PST (米国太平洋時間) 以降も引き続き機能しますが、これらのサービス、ライセンスにおいて、Palo Alto Networks 社のクラウドサーバとの連携が必要となる機能については、PAN-OS のアップグレードが完了するまでご利用できなくなります。

本トピックの詳細や最新情報については、下記のメーカーコミュニティページも併せてご参照ください。

<https://live.paloaltonetworks.com/t5/customer-advisories/action-required-update-pan-os-before-april-30-2027-to-maintain/ta-p/1263022>

ご参照いただくには CSP アカウントを所有する必要があります。

CSP アカウントの作成をご要望の場合は、サポートサイト> サービス> 弊社からのお知らせに掲載されている「Paloalto 個人情報取得申請フォーム」に必要事項をご記入いただき、ファイルを添付して弊社サポート窓口まで申請してください。

なお、掲載されている以上の情報は開示されておりません。記載内容以上の情報については、弊社サポートではお答え致しかねますことを予めご了承ください。

以上